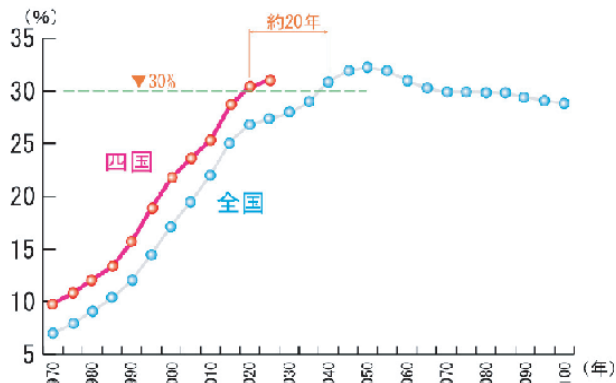


四国地方の概要

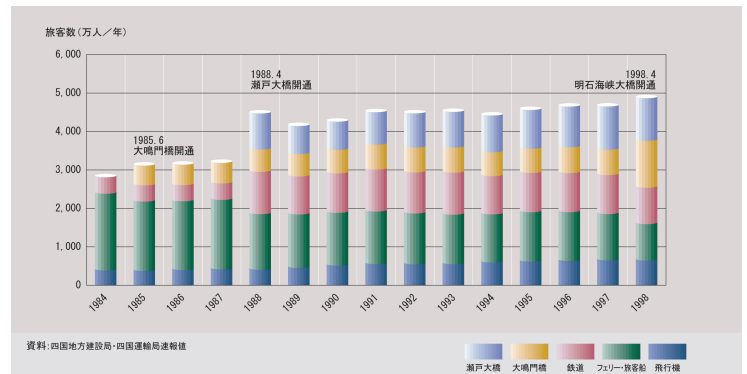
四国地方の動向と課題

- 1) 全国に先駆ける人口減少・高齢化、集落存続の危機
 - ・高齢化は全国平均よりも 20 年早いペースで進行。
- 2) 将来にわたり続く厳しい自然条件
 - ・地すべり危険箇所面積 14.5 %。これは、国土面積比の約 3 倍。
 - ・多雨地帯と小雨地帯が背中合わせとなる両極端な気象条件。
- 3) 四国の誇るべき固有の歴史、文化、多様な自然をいかに地域づくりに活かすか
- 4) 本四 3 架橋による効果をいかに四国の隅々まで行き渡らせるか
 - ・旅客輸送人数は、昭和 63 年 4 月の瀬戸大橋開通前と比べると約 1.7 倍。
- 5) 外洋と瀬戸内海に開かれた地理特性をいかに活かすか

■人口に占める 65 才以上の割合



■本州～四国間の旅客輸送人数の推移



四国地方の目指すべき方向

～自立する四国～

四国の目指す姿は、「四国の進むべき道は、四国に住む人自身の意志を持って決める」という自立する四国であります。そのためには、

- ①魅力ある四国 ②人材の集まる四国 ③一体感あふれる四国

にしていく必要があります。

こうした理念のもと、以下の地域づくりを戦略的かつ重点的に展開します。

- 1) 四国のよさを活かし、子供からお年寄りまで健康的でゆとりを持って暮らせる地域づくり
- 2) 四国の多様な自然を守り活かす地域づくり
- 3) いやしの文化など四国の個性を活かした地域づくり
- 4) 域内から世界までも連携・交流する地域づくり
- 5) 起業家精神を育む風土と地域特性を活かし、競争力ある地域づくり
- 6) 厳しい自然条件などを受け入れ、安全で安心して暮らせる地域づくり

■いやしの文化（四国霊場八十八カ所）

